

第 4 回ひらつか男女共同参画推進協議会 追加資料

資料 3 P 5

25	災害対策課	女性防災リーダーの育成	災害に備える知識や技術を学ぶ女性コミュニティ講座を開催し、女性防災リーダーを育成します。また、その女性防災リーダーが防災知識の普及啓発を推進する講師となることで、地域防災における女性参画の促進を図ります。	女性防災コミュニティ講座を開催し、女性防災リーダーの育成のほか、男女共同参画の視点における災害対策の重要性の認識を深めた	女性防災活動団体と共催による女性防災コミュニティ講座を開催する。	同左	同左	同左
26	災害対策課	防災に関するジェンダー平等意識の醸成	被災時において、一人一人のニーズの違いを踏まえた視点や、性別に関わらず誰もがリーダーとしての参画に十分配慮できるよう、防災訓練や様々な機会を捉え、啓発を通じてより一層推進します。	防災訓練や防災啓発を行う中で、男女共同参画の視点から防災の重要性について周知を図った	各種防災訓練で男女共同参画の啓発を実施する。能登半島地震により、実効性のある避難所運営に関する市民の関心の高まりを踏まえ、特に地域の避難所開設訓練時に啓発する。	各種防災訓練で男女共同参画の啓発。特に、市主催の津波対策訓練における時における訓練時に啓発。	各種防災訓練で男女共同参画の啓発を実施する。特に、学校等の防災授業支援時に啓発。	各種防災訓練で男女共同参画の啓発を実施する。特に、防災啓発イベント出展時に啓発。

資料 4 P 1

災害対策課	平塚市防災会議	市審議会等における女性の割合 30.0%	任期途中で人事異動等により委員の交代がある場合は、委員選出機関に女性委員の選任の必要性を説明する等、積極的な働きかけを行う。	令和 8 年度に委員改選があることから、委員選出機関に女性委員の選任の必要性を説明する等、積極的な働きかけを行い、女性委員数を 6 人程度とする。	任期途中で人事異動等により委員の交代がある場合は、委員選出機関に女性委員の選任の必要性を説明する等、積極的な働きかけを行う。	令和10年度に委員改選があることから、委員選出機関に女性委員の選任の必要性を説明する等、積極的な働きかけを行い、女性委員数を 7 人程度とする。
-------	---------	----------------------	--	---	--	--

資料 4 P12

災害対策課	「みんなのまち情報宅配便」等で、資料を配布する等して、ジェンダー平等の意識啓発をした	地域の防災訓練支援時に、性別にとらわれることなく、被災者ニーズを把握した避難所生活・運営などの助言を行い、ジェンダー平等の意識を啓発する。	同左	同左	同左
-------	--	---	----	----	----